

木材チップ専用運搬船「STELLAR SYMPHONY」就航 マイクロプラスチック回収装置等の最新鋭の環境性能を持つ新造船

丸住製紙株式会社(本社：愛媛県四国中央市、代表取締役社長：星川 知之)が製紙原料として使用する木材チップの専用運搬船「STELLAR SYMPHONY (ステラシンフォニー)」が2022年2月8日(火)に就航いたしました。主にニュージーランド、豪州、北米、南米から木材チップを運搬します。

■ マイクロプラスチック回収装置

本船は、株式会社商船三井(本社：東京都港区)と三浦工業株式会社(本社：愛媛県松山市)が共同開発したマイクロプラスチック回収装置を搭載した最新鋭の環境性能を持つ新造船(註1)です。

海上輸送に関わる企業として海洋プラスチックごみ問題に積極的に取り組み、リサイクルによる資源循環の促進に貢献してまいります。

■ 最新鋭の環境性能

本船は環境負荷の低減を進める様々な装置を搭載した最新鋭の環境性能を持つ運搬船です。

- ・バラスト水浄化装置 (註2)
- ・排ガス除去装置(SOxスクラバー) (註3)
- ・電子制御エンジン
- ・低摩擦型の船底塗料
- ・舵装備型効率向上フィン(Hybrid Fin、推進効率向上による省エネ装備)
- ・プロペラ効率向上フィン(PBCF: Propeller Boss Cap Fins) (註4)
- ・オートパイロット航路制御機能ACE (註5)

従来船に比べて約22%の燃費削減、年間で約4,500トンのCO₂排出量を削減できる見込みです。省エネ運航によるCO₂削減及び更なる環境負荷の低減を進めてまいります。



■ 今後の方針・見通し

丸住製紙は経営理念として「地球環境保全に努める企業」であることを掲げており、環境に調和したものづくりを大切にしています。資源循環型産業への限らない探求と地球規模での環境・社会問題への取り組みを通じ、今後も社会課題の解決に取り組んでまいります。

■ STELLAR SYMPHONY の概要

全長：199.96m

全幅：32.24m

載貨重量トン：約49,350MT

載貨容積：約3,600,000立方フィート

建造造船所：今治造船株式会社

船名の由来：ラテン語の「星」と「調和」を意味する英語を組み合わせせた造語で、「環境に調和したものづくりを大切にする」という丸住製紙グループの企業理念の一つに由来しています。



STELLAR SYMPHONY

- (註 1) 2021 年 3 月 24 日プレスリリース参照：「丸住製紙向け新造木材チップ船にマイクロプラスチック回収装置を搭載」※別紙参照
- (註 2) 船舶のバラスト水を管理する装置。バラスト水による海洋環境に影響を及ぼす水生生物の越境移動を防止するために、バラスト水及び沈殿物の管制のために規定された国際条約に対応している。
- (註 3) 船舶に搭載される船舶のエンジン等の排気ガスから硫黄酸化物 (SOx) を取り除く装置。2020 年に船舶燃料に含まれる硫黄酸化物 (SOx) の濃度を、従来の 3.5%以下から 0.5%以下に引き下げることを義務付けた国際規制に対応している。
- (註 4) プロペラの効率を改善させ、船舶の燃料消費量を削減できる省エネ装置。
- (註 5) 船の針路の方位を設定することで、舵を最適に制御し、航路離脱距離や変針回数の低減が見込め、省エネ運航を実現する。

会社概要

- 社名：丸住製紙株式会社
- 所在地：愛媛県四国中央市川之江町 826 番地
- 設立年：1946 年（創業 1919 年）
- 資本金：12 億円
- 売上高：494 億円（2020 年度）
- 従業員：662 名
- 主な業務内容：新聞用紙・出版用紙・印刷用紙・情報用紙・包装用紙・衛生用紙・クラフトパルプの製造ならびに販売、バイオマス発電、太陽光発電
- URL：<https://www.marusumi.co.jp/>

メディアの方のお問い合わせ先

<広報>

- 電話番号：0896-88-0123
- 携帯番号：080-7175-3044
- FAX：0896-57-2290
- メールアドレス：kouhou@marusumi.co.jp
- 担当者：総務人事課課長代理／篠原雅之



2021年03月24日
丸住製紙株式会社
株式会社商船三井
三浦工業株式会社

丸住製紙向け新造木材チップ船にマイクロプラスチック回収装置を搭載

～一般商船を活用して海洋・地球環境保全を加速させる～

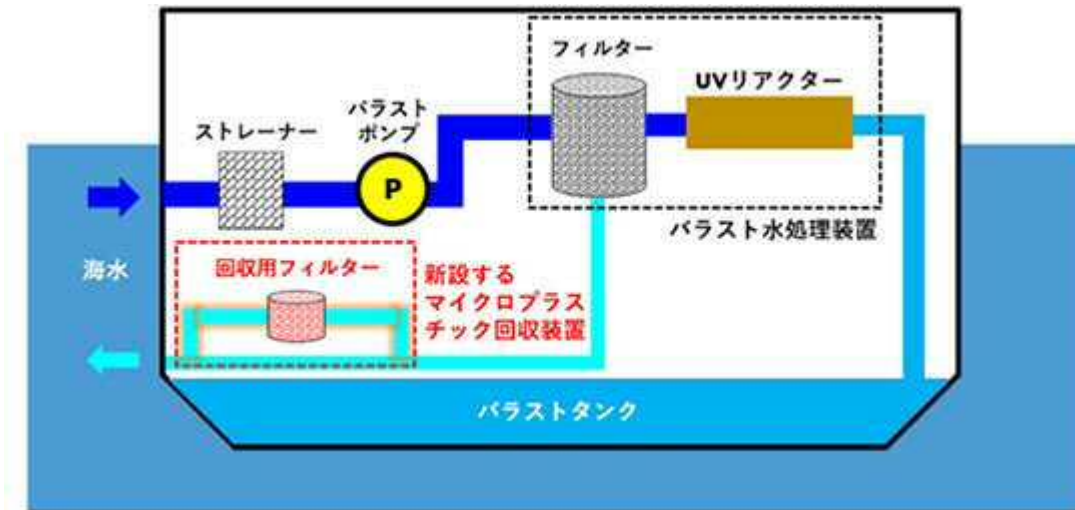
丸住製紙株式会社（代表取締役社長：星川知之、本社：愛媛県四国中央市、以下、「丸住製紙」）と株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社：東京都港区、以下、「商船三井」）は、商船三井と三浦工業株式会社（代表取締役：宮内大介、本社：愛媛県松山市、以下、「三浦工業」）が共同開発中のマイクロプラスチック（註1）回収装置を、2022年に竣工を予定している丸住製紙向けの新造木材チップ船1隻に搭載することを決定しました。マイクロプラスチック回収装置の搭載は、2020年10月27日の試験採取実施（註2）に始まり、バルクキャリア3隻への搭載を経て、本船は5隻目の搭載となる予定です。

従来、マイクロプラスチックはバラスト水処理装置を構成する逆洗機能付きフィルタに捕集され、フィルタ洗浄時の船外排水と一緒に排出されていました。そこで、新たにマイクロプラスチック回収装置を設置し、船外排水の一部を導くことによって、マイクロプラスチックの回収を実現しました。これまでの試験採取から、本装置の性能が設計通りであることを確認し、年間一隻あたり数万個の回収量を見込んでいます。

丸住製紙は企業理念として「地球環境保全に努める企業」であることを掲げており、環境に調和したものづくりを大切にしています。資源循環型産業への限りない探求と地球規模での環境・社会問題への取り組みを通じ、社会課題の解決に取り組んでいます。

商船三井は一般商船へのマイクロプラスチック回収装置搭載数のさらなる拡大と、回収したマイクロプラスチックをリサイクルする事により、綺麗な海と資源循環の達成を目指します。また、海運会社として一層積極的に海洋・地球環境の保全に対する取り組みを進めていきます。

三浦工業は、バラスト水処理装置の排水を全量回収できるマイクロプラスチック回収装置の商品化を進め、世界の海洋環境保全に取り組んで参ります。



▲マイクロプラスチック回収装置と配管の概略図



(註 1)海へ放出されたプラスチックごみが紫外線や波による劣化によって 5 mm以下の微小サイズになったプラスチック粒子を指します。

(註 2)2020年11月24日プレスリリース参照:「新造木材チップ船に搭載したマイクロプラスチック回収装置で試験採取を実施」

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

丸住製紙株式会社 総務人事部 総務人事課 広報係

TEL 0896-88-0123 / FAX 0896-57-2290 / E-MAIL kouhou@marusumi.co.jp

株式会社商船三井 コーポレートコミュニケーション部 メディア広報チーム

TEL 03-3587-7015 / FAX 03-3587-7705 / E-MAIL mrtmo@molgroup.com

三浦工業株式会社 ブランド企画室

TEL 089-979-7019 / FAX 089-979-7126 / E-MAIL info_miuraz@miuraz.co.jp